

# 町並み彩るアート作品

竹製ベンチ



日本文理大の学生が設立した竹製のベンチ「豊後大野市三重町市場

【豊後大野】日本文理大の学生が1日、豊後大野市三重町市場に竹製のオリジナルベンチなどアート作品を設置した。古い町並みが残る周囲の雰囲気に合わせて制作し、独特の空間を演出している。訪れた若者らに会員制交流サイト(SNS)で発信してもらい、にぎわいづくりにつなげる。

## 三重町で文理大生設置

## 「多世代間の 交流拠点に」

（山田泰朗）「作品は国登録有形文化財「麻生家住宅」を利用した観光まちづくり拠点施設の周辺3カ所に設けた。施設を運営するぶんご大野里の旅公社と同大の連携協力協定に基づき、建築学科2年生の16人が2月下旬に下見し、準備を進めた。休憩できる場所が少ないと感じた学生は竹を三角すくに組んだ高さ約2mのベンチを3台制作。1台につき6人が座れる。付近にはかつて藩の法度などを掲げる高札場があつたことから当時をイメージし、お薦めスポットの写真を張つて紹介し合う掲示板（高さ1.7m、幅1.8m）を2枚作つた。

路地裏には放浪の俳人種田山頭火が立ち寄ったとされる井戸があるものの、分かりづらいため、表通りからら誘導するための仕掛けを設置。木製の看板を取り付け、屋根部分にはゼロハンマーを張つて路面にカラフルな模様が現れるようにした。

ベンチを作つた3年の中村泰々香さん[2]は、「いろんな世代の人に使ってもらいたい、交流の拠点になつてほしい」と話した。

作品は3月末まで設置する予定。

誘導看板



種田山頭火が立ち寄ったとされる井戸に誘導するため看板などを設置する学生

・7歳、幅1・8m)を2枚作った。  
路地裏には放浪の俳人種田山頭火が立ち寄ったとされる井戸があるものの、分かりづいため、表通りから誘導するための仕掛けを設置。木製の看板を取り付け、屋根部分にはセロハンを張つて路面にカラフルな模様が現れるようにした。

## お薦めスポット掲示板



高札場をイメージして設置した掲示板。お薦めスポットの写真などを張ってもらおう